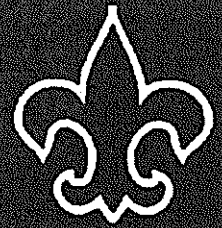


REINANZAKA SCOUT CLUB



霊南坂スカウト交流の場 2007年11月15日号
発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403

No.33

無垢の中から学ばされるもの ビーバー隊 隊長 清水康輝



最も幼い部門の隊長を仰せつかり、2年が過ぎ最初のスカウトが先日カブ隊へ上進致しました。幼さ故の大変さも多いのですが、無垢の彼らとのやり取りの中から学ばされるものの多さを楽しんで行こうと思っております。

8月10日より12日の2泊3日にて長野県野辺山でビーバー隊のキャンプをスカウト10名と実施致しました。通例ビーバーには、隊単独のキャンプを行う事が出来ません。夏のプログラムは日帰りハイキングにとどまりますが、今年は団行事としてキャンプに参加が出来ました。スカウト達にとって普段のプログラムに於いても同様に上級のスカウトとの交わりは特に楽しい様ですしその事が上進

する事への動機付けにも繋がってくれる様です。

幸い今回ベンチャースカウト（高校生年代旧シニア）のサポートを受ける事が出来ました。

滝沢牧場での乳搾り体験・パードコール作りそして一番のお楽しみみのソフトクリームのおやつ。大騒ぎの肝試し、その後の見上げた夜空の星の多さ。

合同キャンプファイヤーでのビーバーの出し物、事前の練習以上の合同キャンプファイヤーでのビーバーの出し物、事前の練習以上の出来に本番での強さは先輩譲りと胸を撫で下ろしたり等、盛り沢山の体験をスカウトと共に過ごせた時を大切にしたいと思えます。

私にとってもビーバーとのキャンプは初めてのものでしたのであれこれと心配を致しましたが、天候にも恵まれ皆が元気に何事も無く過ごせた事を感謝しております。

ミクロネシアの思い出

カブ隊 可知俊太郎

ぼくは、7月26日から8月3日まで、ミクロネシア連邦のコスラエ島に行きました。参加したのは、日本全国の小学5年生から中学2年生までとリーダーです。行き方は成田からグアムへ飛行機で飛び一泊し、翌日コスラエ島に行きました。特に楽しかったことは3つあります。1つは、現地の

子とのスポーツ交流です。バスケットボール、ドッチボールをして、両方とも日本チームが勝ちました。2つ目は海です。沖まで船で行き深くて、こわかったけれど、なれると大丈夫でした。そこでシュノーケルをして海の中を見たらクマノミなどがいて、きれいでした。3つ目は一日ホームステイをした

「キャンプだホイ！」に感動

ボーイ隊 瀬川太郎

ミクロネシアは昔から日本と関わりがある国ですから、日本の歌、日本の遊びなどをよく知っています。

僕は1日だけ15才のネイザン・サントス君とその家族と過ごしました。僕がネイザン君の家に着くと家族で祝ってくれました。そのときにネイザン君のおばあさんが僕のために歌を歌ってくれたのですが、その歌がなんと「キャンプだホイ」だったのです。「キャンプだホイ、キャンプだホイ、キャンプだホイホイホイ、・・・」と歌ったとき僕は感動しました。霊南坂スカウトのマイク真木さんが作った歌が世界で歌われているので、自分も霊南坂スカウトとして誇りに思いました。

僕はこれからもこの霊南坂スカウトとしての誇りを忘れずに活動をしてゆきたいです。

ことです。現地の人はやさしく貝の養殖場に連れて行ってくれたり、いっしょに野球をしたり、川遊びをしました。夕食は伝統料理を食べるはずだったのに、レストランに連れて行ってくれて、白いご飯やさしみを食べさせてくれました。8泊9日でもとても疲れたけれど、たくさんの友達が出来て、とても楽しかったです。





わたしはブラウニーさい後のキャンプで軽井沢へ行きました。軽井沢は東京よりずすしくて、空気がおいしくすんでいてさわやかでした。その軽井沢で、わたしの心に一番のこった思い出はキャンプファイヤーです。わたしの、森のせいはい毛虫のかえ歌を発表しました。セリフがおもしろくて、歌っていて思わず笑いたくなる歌です。みんなの前で発表する時はむねがドキドキしましたが、歌ってみると、心があたたかく楽しくなってきました。聞いているみんなが声を上げて笑ってくれたからうれしかったです。

二番目に楽しかったのは、オリエンテーリングです。チームはみーちゃんとみくちゃんでした。ロープむすびや、ふうりん作りをしたり、リーダーから出されたきつ

つきのすの間だいにわたしたちがこたえました。結果はビリだったけど、みんなで協力してギブアップせず答えられたので、うれしかったです。

三番目に楽しかったのは、散さくです。よく晴れた日に、きれいな池のほとりを友だちといっしょに歩くととても幸せな気持ちになります。水がきれいですんでいたので、わたしたちはそこで、足だけ水につかりました。つめたくてキラキラかがやいて、何だかおいしそうなお水でした。そこで時間は、すごく早くすぎていったように感じました。

来年はとうとう何でも自分でするジュニアです。わたしも、ジュニアの人のようにりっぱになれるか心ばいですが、がんばりたいです。

森林ボランティア

ジュニア 高木菜由子

私は森林ボランティアに初めて参加しました。午前中は下草刈りをしました。草刈りはカマで一本一本かっけていきます。手で一本一本刈っていくことは大変な仕事だと思いました。でも、草を刈っていくうちにみるみる自分の周りがきれいになっていくと、だんだんと楽しくなりました。刈り終わってみると、周りに下草がなくなって、きれいになりました。

下草刈りをやって良かったなあと思ったし、達成感も味わえました。とても良い体験でした。

午後はクラフトをしました。私はクラフトがとても好きなので、朝からずっと楽しみにしていました。

クギを打ったり、かどをきれいに合わせるなど、むずかしいところもあったけれども、気に入った作品ができてうれしかったです。

とても楽しい一日で、また機会があれば参加したいと思います。そして、これからもいろいろな事、活動に積極的に取り組もうと思います。





私は今年の夏休みに、シニアキャンプに参加させて頂きました。

行き先は山梨県の村営山中湖キャンプ場です。新宿から車で約2時間30分位の所にあり、東京の灼熱地獄から脱出し、とても涼しく自然豊かな場所でのキャンプ。今回の夏キャンプのテーマは「つかもうぜ！チャレンジャーボール！」です。チャレンジャーボールとは、夏キャンプ期間中に様々な事に挑戦しリーダーから頂けるボールの事です。

私は、体力2つとチームワークのチャレンジャーボールを頂きました。体力については自信がありました。しかし、山中湖サイクリングまた、400段の階段登り、これは本当に足が棒になってしまうほど、きつかったのですが、終わった後は達成感でいっぱいでした。また、チームワークのチャレンジャーボールでは、同じテントの仲間と助けあい協力しあってテントを組み立てる事から始まり料理を作りキャンプファイヤーでのスタンプを考え発表しました。

今回のキャンプでは友達についても真剣に考える事のできたキャンプでした。

このキャンプに急遽参加させて頂き、色々教えて下さった団委員長・副団委員長・リーダー・ボーイスカウトの皆様に感謝いたします。

とても充実した楽しいキャンプでした。

ありがとうございました。

今年8月、念願であったガールスカウト海外派遣の機会に恵まれ、三回目となるモンゴル植樹奉仕派遣者としてウランバートル、南ゴビに8日間滞在しました。

生活様式や習慣、文化の違いといった現地の「生活環境」を自分の目で見て、感じて、聞くという貴重な体験に恵まれ、本当に嬉しく思っております。

モンゴルといえば「豊かな自然と一面に広がる緑の大地」というイメージを抱くのではないのでしょうか。しかし「植樹奉仕」という言葉通り、モンゴルは今、緑を必要としているのです。

気候的には草原の広がるはずの地域、モンゴルでは1960年代から急速に砂漠化が進行し、緑が減少し続けています。この背景には1949年の新中国成立後に定着型の農耕・牧畜が進められたこと、漢民族の移住による爆発的な人口増加があると研修で学びました。

実際、ウランバートル市内どこを見渡しても、「緑のある町並み」という印象を受けた記憶はありません。今年度植樹が決まったウランバートル第51番高等学校も実に殺風景でシンプルなつくりの校舎が印象に残ります。植樹を行った8月19

日は雨天でしたが、51番学校の生徒たちと一緒に木々を植え、その後、交流会と夕食を共にし、国境を越えた友情を育むことができました。

研修4日目に滞在した南ゴビでは、生まれて初めて見る、果てしない砂丘の迫力と空の青さに感動しました。同時に急速に進んでいる砂漠化の拡大に恐怖を感じました。

宿泊したツーリストキャンプの草原地帯と夜空の星の美しさは言葉ではとても表せません。しかしこのまま砂漠化を食い止められなければ数年後には、私が見た広大な草原もあつと云う間に砂漠になってしまうのです。

また空気汚染が進めばあのスカウトタウンをおこなった日に見た満天の星空もすっかり見えなくなってしまうことでしょうか。とても恐ろしいことです。

今回の研修を通してモンゴルのみならず、地球と云う星の大切さを改めて知らされました。どんなに小さいことからでも地球の環境汚染防止、砂漠化を食い止める力になれるはずです。この研修を機に積極的に世界に目を向けて、人生の糧とし、多くの人々に自分の体験を伝えていきたいと思っています。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAZU ISLAND PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階

TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

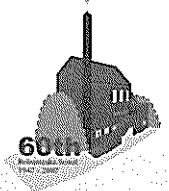
美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階

TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00 日・祝休

日本初の万華鏡の店 誠志堂マイヤーズ TEL:03-3401-9291

BS 60周年合同キャンプ



60周年のテーマ「みんな仲間だ！ 霊南坂スカウト」にそって、ビーバーからローバーまでの合同キャンプを長野県野辺山で8月10日から実施しました。



ビーバー隊 小島雅也

僕は牛の乳搾りがとても楽しかったです。牛は可愛くて、暖かいです。ウンチやオシッコをする時、尻尾を挙げて教えてくれてえらいです。

夜は少し寂しかったけど、キャンプファイヤーや肝試しが怖くて楽しかったです。

ビーバー隊 渡辺光風

僕がキャンプで一番楽しかったのは、キャンプファイヤーと肝試しでした。

キャンプファイヤーで歌を歌ったり、踊ったりしたので、すごく楽しかったです。

そして自分達の歌がうまく出来て、ほっとしました。それと、劇がおもしろかったので、

笑ってしまいました。肝試しは、すごくドキドキしました。二番目のお化けに驚いて、僕は腰を抜かしてしまいました。

でも、とても楽しかったので、来年も又行きたいです。

カブ隊 惣田雄一

ぼくが、このキャンプで印象に残ったことが3つあります。

1つ目は、初めて作ったアイスクリームのことです。しぼりたての牛乳を使って作りました。下にはマイナス20度の氷をひいて10分かきまぜていきました。しかし、かきまぜていくうちに、どんどんかたくなっていくので、かきまぜるのがたいへんになっていったけれども、その分とてもおいしく食べることができました。2つ目は、飯盛山ハイキングです。ひょう高は1,643メートルの山に登りました。登るときは、とても暑いが山頂に着いたときは、涼しさで見晴らしはかくべつでした。3つ目は、キャンプファイヤーです。1組のみんなと去年の秋からいっしょで、3日間さらに息が合っていて、いい劇ができたと思いました。最後の4日目に、リーダー達が教えてくれたおかげで、最優秀スカウトに選ばれてうれしかったです。これをきにもっといいスカウト

になれるよう、がんばりたいと思います。



スカウトクラブ 朱村 宏

何年ぶりかな？スカウトのキャンプに参加したのは、二十年以上経つのに名前も分からないカブやビーバー達とすんなりと解け込んで行ける。年は違っても同じ霊南坂スカウトの仲間なんだ！カブやビーバー達、憶えているかな、キャンプの途中にオレンジジュースを持って来たおじさん二人を？おじさんの方が倉持（くらもち）若い方は朱（しゅ）です。名前覚えてください。来年はGS、BSの合同キャンプの予定と聞いています。私達も出来る事は手伝いますのでリーダーは遠慮なく言ってください。

ボーイ隊 瀬川太朗

僕は今年の団合同キャンプでいろいろな初体験をしました。まず、ジャンボリーテントといわれている大きいテントをたてました。立てた後には達成感がありましたけれど、立てているときは大変でした。

次に、「立ちかまど」を作りました。僕たちは三日かけて作りましたが、後から着いたカブスカウトたちは1時間あまりで作ったので、僕たちはそれを見て「9月に上進してくるカブスカウトは優秀だな」と思いました。

しかし、カブスカウトの作った「立ちかまど」はそれでマシュマロを焼いて食べるだけのものですが、僕たちのはそれで毎食ご飯を炊くためのものです。僕はその辺のことがカブ隊とボーイ隊との違うところだなあと思いました。

ベンチャー隊 小林資英

私は3日目からの参加だったのですが、合流してまずキャンプサイトに驚きました。

今まで経験してきたどのキャンプよりも居住性が高く、「楽しさ」や「過ごしやすさ」を追求したものという印象を受けたのです。あのキャンプサイトを見た瞬間に「このキャンプは絶対に楽しいものになる」と確信しました。

今回の夏キャンプはビーバー隊の隊付として参加をしたので、キャンプサイトに居ることは殆んどできず少し残念だったのですが、ビーバースカウトの子どもたちと長い時間を共にすることで、彼らがどんなことを考えているか、どんな癖があるか、何が好きで何が嫌いなのかといった普段一緒に遊ぶだけでは気付くことのできない様々なことを発見できました。

最近の子どもたちは、両親以外の大人、所謂「近所のおじさん・おば



さん」や、私くらいの「お兄さん・お姉さん」という存在に触れる機会が少ないように感じられます。

このキャンプを通じて、現在の閉じた環境を解消し、家族の中だけでなく周りの人間みんなが触れ合うことで外に向かっている、そんな地域社会というものを目指すには一体どうすればいいのか、ということを考え学んでみたいと思いました。そのようなわけで、今回の夏キャンプは私にとって非常に重要な意味を持つものになりました。

ローバー隊 池田晃浩

私は中学3年以後は一度もキャンプをしていませんでしたので、今回のキャンプは3年ぶりということもあり技術が衰えていて、そんな中で後輩スカウトたちに未熟な私を見せるのは恥ずかしいものがありました。ましてや指導するとなれば更に恥ずかしかったのです。

しかし、指導をしながら私の技術も向上していった気がします。指導をするというのは自分自身のためになることが判りました。

またビーバー・カブのスカウト共にキャンプをするのは結構楽しいものですが、ボーイ隊の人数が少なというのがとても辛そうに見えました。

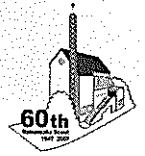
今回のキャンプで様々なことを学ぶことができ、久しぶりのキャンプでとても楽しい思いをさせていただきました。

ローバー隊 増山植雄

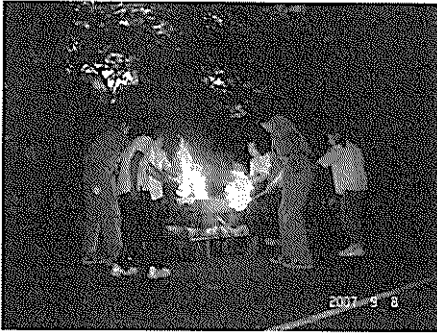
今回の団キャンプでは様々な貴重な体験が出来たと思う。ローバースカウトとしての「ちかい」をたてたり、カブ隊の手伝いをしたり、寝不足で体調を崩したりと心に残ることがたくさんありましたが、「ちかい」をたてたことから書くことにしよう。

たくさんの方の前であのようなこと言うのは本当に緊張するが、しかしこのようなことはなかなか出来ることではないので、皆の前で「ちかい」という機会を与えてくれた指導者の方々に感謝をしています。カブ隊の手伝いでは、予想外の行動をする子どもたちに大苦戦だった。言ったことをすぐに理解する子、なかなかしない子と様々で、全員に解ってもらうにはどうしたらいいのか考えさせられた。またこのときに、「この子どもたちをいつも指導しているリーダーたちは本当にすごい」と改めて感じました。このキャンプを通して、カブ隊の子どもたちと交流を深められたことは本当によかったと思います。ボーイ・ベンチャー・ローバーがどのような活動をしているのかを教えることができ、少しでもスカウト活動に興味を持ってもらうことができたと思います。

団キャンプを行うのはとても大変なことだが、やった後に残るものはとても多いと思います。



キャンプファイヤー



9月8日(土) 東京の中心地、霊南坂教会に於いて恒例の霊南坂スカウト合同キャンプファイヤーを行いました。各団からの思い思いのスタンプや歌で楽しく過ごしました。スカウトクラブからは Holdria Kuck を指導、みんなで歌い踊りました。「毎年9月の第1 or 第2土曜日恒例となっておりますので、奮ってご参加ください。」

「また12月のクリスマス、2月のスカウトサンデーの礼拝も同じように覚えてご参加ください」

教会 バザー

10月27日の教会バザーにはボーイスカウト恒例の焼きそばやGSアダルトの焼き鳥などを販売。ガールスカウトは自分たちで作ったクラフトやゲームなど趣向を凝らしたお店を展開しました。

保護者やリーダーは会場の随所で活躍しました。スカウトクラブでは60周年記念のマグカップやクリアファイル、記念式典・記念パーティーの写真データを収録したDVD(¥500)を販売しました。



アメリカ だより

木田節子(旧姓遠藤)

私は中学から高校までガールに在籍しその後カブのデンマザーになりました。毎週3組のスカウトに会うのが楽しみでした。

あれからもう36年もの年月が過ぎ今はシアトル暮らしでスカウトとは縁がなくなってしまいました。でもスーパーマーケットなどでガールスカウトの御嬢さんたちがクッキー売ってたりするととっても懐かしく思います。2人娘がおりますが長女の留学を機に家族でシアトルへ移住しました。娘たちは日本にいたときから中華学校へ行ったので言葉には問題も無くなりましたが私と主人は慣れない文化の違いにとまどいました。

私は日本でトリマー(犬の美容師)をしていたのでこちらでも出来たらいいなーと思ってたところ友人の紹介で出張トリミングを始めました。ほとんど日本人のお客様でしたが楽しい毎日でした。

長女が大学へ行くようになり私も仕事を本格的に始めました。

こちらの学校にも通い仕事を介していただき獣医さんに勤めました。下の娘も同じ獣医さんで高校生でしたがアニマルケアのアルバイトしていました。



今はテクニシャン(動物看護師)の学校へ行っておりわからない事があると教えてくれます。

獣医さんでトリマーとして6ヶ月勤めましたがトリミングを閉める事になり私はお店を出す事になりました。

家のお店はほとんどが前の獣医さんの患者さんです。お客様も増え今では忙しいです。

毎日楽しくお仕事ができること神様に感謝しております。

こちらへきて私と娘は教会へ行くようになり昨年洗礼を受けました。

シアトルはマリナーズくらいしか有名なものはありませんが自然はたくさんあります。

今は紅葉がとってもきれいです。こちらへおいでの際はお立ち寄りください。

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ
カタログ
リーフレット
パンフレット
名刺
その他広告&
DM販売促進ツール
デザイン・印刷
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブ・センス CALL 03-3583-0877

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F

FAX 03-3589-5181

Mail info@7sense.co.jp

マイク眞木チャリティーコンサート



10月13日霊南坂教会に於いてボーイスカウト OB のマイク眞木兄がアフガニスタンのスカウト活動を支援している AJ-SEP (アフガニスタン・日本スカウト交流プロジェクト) のために音楽仲間と共にチャリティーコンサートを開催しました。第1部はマイク眞木 ON STAGE で後半にはスカウトの制服で登場、得意のバグパイプの演奏を聴かせてくれました。第2部は後輩のスカウトと共にスカウトソングを全員で合唱して楽しいコンサートとなりました。

スカウトクラブはロビーで60周年記念のマグカップ、ファイルフォルダー、60周年記念写真をまとめたDVD (¥500) を販売しました。

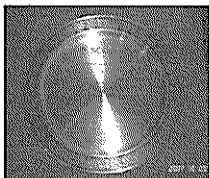
AJ-SEP 2名のスカウトを招聘



10月11日～24日まで世界スカウト機構アジア太平洋地域 (APR) 主催のスカウト会議に出席するために AJ-SEP が費用を負担して2名のスカウトをアフガニスタンから招聘しました。

21才の双子の姉妹で、20年間の混乱のため学校に行かずに現在12年生 (高3) のスカウトで、今後アフガニスタンでリーダーとしての活躍が期待されます。

尚、APR アブドゥラ・ラシード事務局長より AJ-SEP に対してアフガニスタンのスカウト活動支援と APR への協力を感謝するプレートが贈られました。



上海漫遊記 倉持雅人

10月26, 27, 28日、2年ぶりの上海再訪2泊3日の旅をエンジョイしてきました。同行者は、戸田御夫妻、ミセス白井、そして倉持の旅慣れた4人組、上海には現地在住のカト四、以上5人で早朝より深夜まで遊びまくり、食べまくり、買い物しまくり、飲みまくり、思い切り楽しむことができました。

それでは、詳しくお話ししましょう。まず、旅行社はHIS、航空会社

コンサートの中でマイク眞木兄のスカウトへの参加のキッカケを歌で紹介してくれました。当時の情景を思い出される方も多いと思います。

今の赤坂のTBSは
昔は連隊山の防空壕だった
チャンバラごっこで遊んでいると
制服姿のお兄さんが 通り過ぎていった
ついてゆこうぜ 面白そうだけ
どこへ行くんだろう
中の町 氷川町 福吉町 すぎて
坂を登って ちまきやのとなり
レンガ造りの霊南坂教会

お兄さん 僕たちを仲間に入れて
カッコいい 制服を着てみたいのさ
君たちはまだまだ 小さすぎるけど
しかたない カブ隊を作るとするか

紺色の制服に ネッカチーフ
自分のことは自分でします いつも
元気 歌おうよ 賛美歌 スカウト
ソング やくそくと ちかいは 今
も守っています

は贅沢に日本航空、成田11:20発、上海13:30着 (時差1時間) ホテル金門大酒店。

1日目; 3時間弱のフライトで機内食を食べ終わるとまもなく上海着、空港より迎えの車でホテルまで、休む間も

どん しゃん

SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちよください
詳しくは、電話かホームページで
<http://www.donshin.jp>

日曜定休
PM 6:00~
目黒区祐天寺 1-22-2 2F
03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です

なくロビーでアメリカナイズされた派手なネクタイの中国在住の日本人?カト四 (OB) と再会、エネルギッシュな姿を見て安心、直ぐに街へと繰り出しました。

以降のレポートは次号のニュースでご報告いたします。情報満載ご期待下さい、いやー楽しかった

クラブ運営に力を貸してください

スカウトクラブでは、健康上やお仕事の都合で役員(幹事役)の働きが出来る方が少なくなっております。会員諸氏のお力で「恒例のバスピクニック」なども復活したいと計画しております。

また、60年間の活動の中で残しておきたい歴史的品々を整理・保管することも検討する必要があります。クラブの運営に力を貸して下さる方をお待ちしています。霊南坂のスカウト活動に関わった方であればどなたでも歓迎です。下記・総合連絡先、永山茂樹まで尚、戸田健次郎兄が窮状を察して役員に参加くださることになりました。諸氏の参加をお待ちします。

霊南坂スカウトクラブ 総合連絡先 (問い合わせ・申込・ご意見等)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-4 **永山茂樹 宛**
(FAX) 03-3431-0192 (TEL) 03-3431-0011
(E-mail) shige827@sf6. so-net. ne. jp

Coffee House

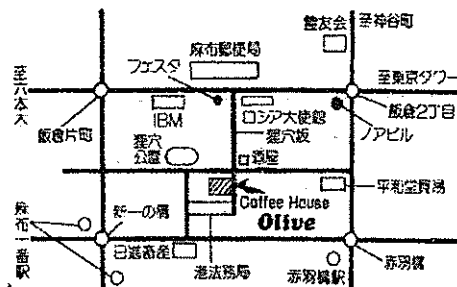
Olive

お気軽に、お立ち寄りください

カブ隊
小野俊夫隊長の店です

東京都港区東麻布2-11-3
TEL&FAX : 03-3582-4994

営業時間 8:00~22:00
土・日・祝休



霊南坂スカウトクラブ 告知板

これからの予定

- 12月15日 (土) 16時~17時
霊南坂スカウト 合同クリスマス礼拝
- 12月24日 (月・振替休日) 19時~ と 22時~
霊南坂教会 クリスマスキャンドルサーヴィス
- 2008年
- 1月19日 (土) 13時~15時
霊南坂スカウト 恒例 お餅つき
- 2月17日 (日)
スカウトサンデー
 10:15~スカウトサンデー礼拝・愛餐会
 13:00~演奏会
 フォークギタートリオの演奏
 15:00~スカウトクラブ総会

メールアドレスをお知らせください

最近、携帯電話やパソコンでのメールを利用されている方が増えておりますので、スカウトクラブでも会員の連絡網として通信費のかからないメールアドレスの整備を行います。

皆様の登録をお待ちしています。
宛先は総合連絡先
shige827@sf6. so-net. ne. jp
永山茂樹 宛 お願い致します。

霊南坂スカウトソングクラブに改名

名称が合唱団では気が重い・・・のご意見に従い改名致しました。「霊南坂スカウト・ソングブック」を活用して、スカウトソングの楽しさ、一生の思い出となる歌、歌い伝え合う現役との交流、健康のためにも最高なスカウトソングをみんなで歌いましょう!

救急法 講習会

去年は日赤の救急法講習会を開催しましたが、今回は消防署のご協力で普通救命講習会を 2008年3月15日 (土) 13時から開催致します。お申し込みは2月1日から受け付けます。

編集後記

キャンプの経験を持つ人にとって、その思い出は一場面ごとに鮮烈に覚えているのではないのでしょうか。今年の夏もスカウト達はそれぞれの場所で多くの思い出を作ったことでしょう。

60年の歴史を歩む霊南坂スカウトにとって、何歳になってもスカウトへの思いは変わらないと思います。今回も現役の活動をはじめ、世界各地で活躍のOG・OBの原稿を戴き編集出来ました。「みんな仲間だ! 霊南坂スカウト」の絆となれば幸いです。

田中新二